

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業				☒ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課	
施策名	21	生涯学習の推進			所属係	スポーツ振興班	課長名	野本立一	
基本事業名	79	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進			担当者名	濱田祐史	電話番号 (内線)	248-5555 1504	
予算科目	会計 01	款 10	項 06	目 01	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 H15 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の概要) 総合型地域スポーツクラブの運営支援 (事業の内容) 総合型地域スポーツクラブへの補助金申請、交付業務、事務局としての受付・会議等での業務補助 施設の確保 (予算の内訳) 補助金						総 投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

- ・総合型地域スポーツクラブへの補助金申請、交付業務、事務局補助
- ・年間を通して活動の場(市の体育施設)を無償で提供した。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

総合型地域スポーツクラブ

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・総合型地域スポーツクラブ事業計画に則り、事故なく活動ができる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

学習やスポーツに取り組む仲間ができる。

学習やスポーツリーダーになる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 補助金額	円
イ 施設使用料減免額	円
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア クラブ数	団体
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 事業計画に則り、事故なく活動ができなかった事業の割合	%
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 活動している生涯学習・スポーツ団体数	団体
イ 市内在住のインストラクター数/生涯学習施設で各種講座を担当しているインストラクター数	%
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		1,345	1,658	1,658	1,658	1,658	
			事業費計 (A)	千円	0	0	1,345	1,658	1,658	1,658	1,658
	人件費		正規職員従事人数	人			1	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間			320	320	320	320	320
			人件費計 (B)	千円	0	0	1,270	1,270	1,270	1,270	1,270
			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	2,615	2,928	2,928	2,928	2,928
活動指標			ア	円			1344700	1657600	1657600	1657600	1657600
			イ	円			489600	800000	800000	800000	800000
対象指標			ア	団体			1	2	2	2	2
			イ								
成果指標			ア	%			0	0	0	0	0
			イ								
上位成果指標			ア	団体							
			イ	%							

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・平成15年4月設立 地域における公益を目的とし、地域に開かれたスポーツクラブをつくる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

・平成12年のスポーツ振興基本計画で立ち上げが推進され、平成20年までに少なくとも市町村に1つの総合型地域スポーツクラブを作ることが目標に掲げられた。総合型地域スポーツクラブ「クラブにしごうし」は設立から4年が経過し、平成18年度会員数430名を有し、事業の見直し財政面の強化など着実に発展している。

・平成19年3月31日に合志市2つ目の総合型地域スポーツクラブ「ヴィーブルFUNクラブ」が設立した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・会員からはクラブに入れば幾つもの種目が体験でき、異世代間の交流ができる。

・自分のペースでスポーツができる。

・弁天プールを安く使える。

・指導者からは、自分の能力を試せる場となっているという意見

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 意図の総合型地域スポーツクラブ事業計画に則り、事故なく活動ができることで、結果の学習やスポーツに取組むことの必要性を認識できる。施設や学習内容を知ることができるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 文部科学省も推進している事業であり、市のスポーツ振興の一端になっている。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？ 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・事業内容、指導者、運営が充実してくれば向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ クラブの運営が会費だけではまかなえなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 体育協会との一層の連携ができれば向上する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) クラブ事務局員1名分の給与は削減できないが、ユーパレス弁天施設使用料の個人負担額を見直すことで削減の余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 事務局は総合型地域スポーツクラブの嘱託職員であり、正職員もできるだけ事務局員にまかせるようにしている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 年会費5,000円 保険1,500円の計6,500円を納めてもらっているが、会費の値上げについては事業内容等を精査しながら慎重に行うべきである。

合志市

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

全国的に広がりを見せる総合型地域スポーツクラブであるが、どのクラブも会費、補助金、指導者、事務局など様々な問題を抱えている。「クラブにしごうし」も同じような問題を抱えているが、事務局、指導者の協力により着実に発展している。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☒ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

・施設使用料などで会員の負担額が増えると会員の減少につながり、その結果活動ができなくなる危険性がある。もともと行政が推進して立ち上げた団体であるため、財政面でも補助は必要である。改善案としては、人材の発掘や広報などの手助けも行い、クラブの充実を図るべきだ。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・指導者不足、牽引力のある人材不足
- ・住民のスポーツに関する関心度
- ・「お金を払ってまでスポーツはしない」という住民の意識改革
- ・補助金の必要性などを審議する行政のトップの理解
- ・クラブの自主運営へ向けて市の正職員が外郭団体の事務局員としてではなく、アドバイザー的な存在でありたい。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項